

先輩から後輩へ つなぐ 全会津中学校駅伝競走大会

九月三日(木)全会津中学校駅伝競走大会が行われました。今年、コロナ禍で、無観客、YouTube配信という異例の状況下で行われた大会となりました。例年、夏休み中に毎日走り込み、暑さに慣れる練習をして、この大会に臨んでいましたが、今年夏休み期間の短縮で、十分な準備ができないまま大会当日を迎えました。スタート時刻は、女子が正午、男子が十三時三十分の、暑い盛りです。心配されるのは熱中症。子どもたちには、十分な睡眠をとり体調を万全にして当日を迎えることを指示しました。当日、予想通り暑い時間帯でのレースとなりましたが、子どもたちの足取りには力強さを感じました。



伝統の襷

今年、密を避けるため録メメンバー以外の会場入りは認められず、学校に残って応援している部員もいます。コースのあちこちに散らばって応援する部員もいます。みんな暑い夏一緒に練習し、辛さを分かち合ってきた仲間です。その思いを背負い、ペースを崩すことなく最後まで走り切り、三島中の襷をつないだ選手たち。その安定した走り、昨年の順位を上回る結果となりました。代々、全校生で駅伝の練習に取り組み、全校生が一つのチームとなり戦う三島中駅伝部。その伝統が今年も守られ、先輩から後輩へ襷がつながりました。この襷は、これから先も受け継がれて、後輩たちの背中を押してくれることと思います。



恒久の平和を願って 8月6日 平和学習



一九四五年八月六日は広島に原爆が投下された日です。例年だと夏休み中のこの日、今年も授業日になったのも何か意味があるのではないかと、社会科、国語科、英語科の3教科から、平和について考える全校道徳の授業を行いました。八時十五分には、広島で行われている平和祈念式典に合わせ、黙祷をしたあと、第二次世界大戦について社会科の二瓶浩伸先生から説明、その後、国語科の阿部悟先生が、峠三吉の「八月六日」という詩を朗読、最後に英語科の薄のぞみ先生が佐々木禎子さんの折り鶴とオバマ大統領の広島でのスピーチを紹介しました。三年生の修学旅行で沖繩に行き、平和について学んでいる三島中生ですが、広島、長崎からの視点での平和学習も心に響くものがありました。

今月の1枚

第68回 全会津中学校体育大会
駅伝競走大会
女子1区 スタート
9月3日(木) 正午
会津総合運動公園内特設駅伝コース



立志 未来を担う



七月三十一日(金)、三島町長 矢澤源成 様はじめ七名のご来賓をお迎えして、令和二年度の立志式を挙行いたしました。式では六名の二年生一人一人が自身の志を四字熟語で表し、これからの人生を歩んでいく上での決意を示しました。「万里一空」「一陽来復」「勇往邁進」「堅忍果決」「一致団結」「寛仁大度」どの言葉にも、人として更に大きく成長したいという思いが込められ、そのために、自分はどう生きるべきかが示されています。教育の役割は「人づくり」と言われています。そこに携わる者として、子どもたち一人一人が、自分の将来に夢と希望をもち、その実現に向けて自分を成長させながら突き進もうとする姿に出会えた時ほど、教育者冥利に尽きることはありません。

今年、立志式を迎えた六名の二年生は、昨年、少子高齢化の波を目の当たりにし、将来に不安と危機感を感じました。自校の部活動が単独出場できず、他校との合同チームを組んだのもその一つです。自分たちの未来をどうすべきなのか、そこに目を向ける時期を感じ学習を始めました。郷土再発見をテーマに町の未来を考へ、桐陽祭では、その内容を劇として表現しました。今年一月には三年生の先輩が、町の現状を危惧し「三島町次世代の議会」でその思いを表現したことを受け、一層自分たちの双肩にかかる重さを感じたことと思います。その子どもたちが立てた志です。いろいろな思いがあるものと推察します。学校では、未来を担う子どもたちが、地域の現状に目を向け、自分事として捉

[教育目標]

心豊かな生徒
自ら学ぶ生徒
たくましい生徒

桐の里だより

令和2年9月号
三島町立三島中学校
校長 関根宏房
ホームページURL
<https://mishima.fcs.ed.jp/>三島中学校



ホームページだより掲載したいです。ご閲覧いただきありがとうございます。

空き瓶・空き缶回収にご協力ありがとうございました



令和2年度
第2回 空き瓶・空き缶回収
収益 83,831 円

地域の皆様に感謝し大切に活用いたします

八月二十二日に行いました空き瓶・空き缶回収では、地域の皆様からたくさんのご協力をいただき、多くの収益を上げることができました。子どもたちの教育活動充実のために、大切に活用させていただきます。

え、地域に貢献できる事は何なのかを考える学習をしています。一年生の時の郷土再発見から始まり、三年生の三島町次世代の議会でも縮めくる三年間の学習サイクルです。二年生である今年度は、一年生の時に考えた町の未来から一歩進み、今年学習している内容を取り入れて、より現実的に町の将来を考え、広報誌等で表現することになっていきます。何年後かに、この子どもたちのアイデアが実現し、町に貢献している姿を見てみたいものです。